

③歩行者空間の状況

【道路幅員】

- ・はかた駅前通りは、計画幅員が27mで整備されており、歩道幅員が5.5～7.0m(有効幅員3.5～5.0m)あります。
- ・イーストビル横の歩道は、土地区画整理事業により、歩道が拡幅され8.8m(有効幅員6.8m)あります。
- ・国体道路は、計画幅員が22mで整備が完了しており、歩道幅員が4.6～5.0m(有効幅員2.6～3.5m)あります。
- ・国体道路とはかた駅前通りには、歩道に自転車誘導部(カラー舗装など)が整備されています。

【バリアフリー】

- ・国体道路、はかた駅前通りともに誘導ブロックが設置され、歩道と車道の段差解消も行われています。
- ・国体道路や中間駅周辺に放置自転車が多くみられます。



①清流公園



②中洲懸橋



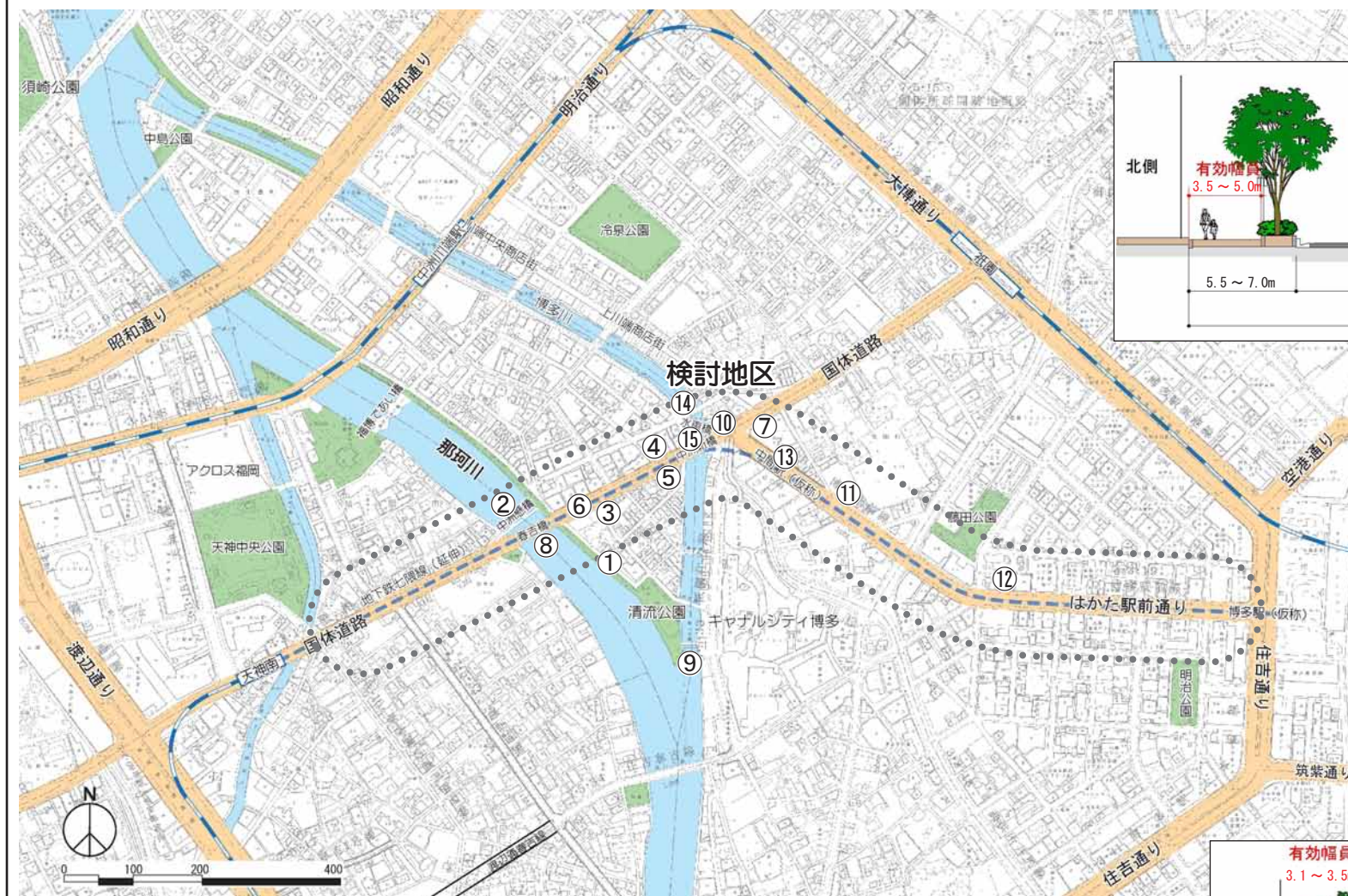
③国体道路



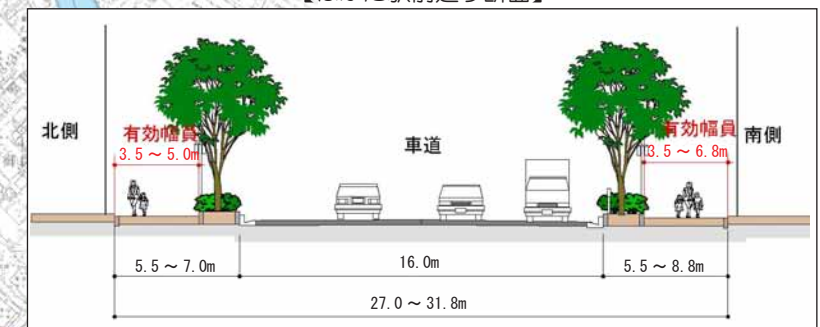
④国体道路



⑤国体道路(バス停)

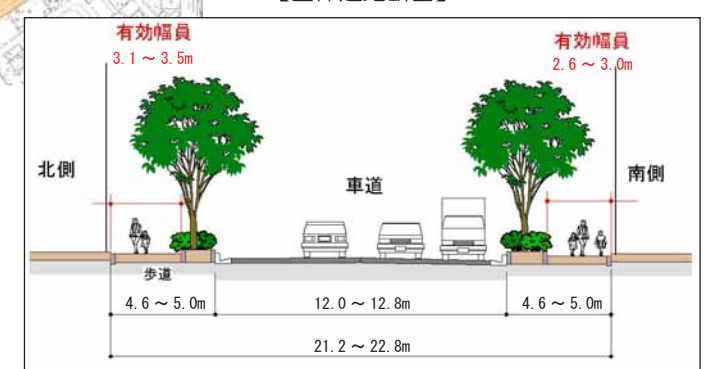


【はかた駅前通り断面】



⑥国体道路

【国体道路断面】



⑭水車橋



⑮中洲新橋



⑬はかた駅前通り



⑫はかた駅前通り



⑩はかた駅前通り



⑩祇園町西交差点



⑨夢回廊橋



⑧春吉橋



⑦はかた駅前通り

④通りの街並み景観等の状況

【はかた駅前通り】

- ・歩道空間は、ストリートファニチャー（街灯や案内表示、舗装など）のデザインが統一されています。
- ・また、平成22年度から「福博花しるべ」により、歩道空間に色とりどりの花が植えられ、花しるべのバナーなどが設置されています。
- ・歩道上には市民や観光客に分かりやすい案内サインを社会実験で設置しています。
- ・平成23年7月に新たなシンボルとなる魅力的な都市空間の形成を目指して「都市景観形成地区」が指定されました。

【国体道路】

- ・夜になると歓楽街としての賑やかな景観を創り出しています。



⑬はかた駅前通り



⑭国体道路

①はかた駅前通りの植栽



②はかた駅前通りのバナーと街灯



③飲食店等が入るビル



④イーストビル



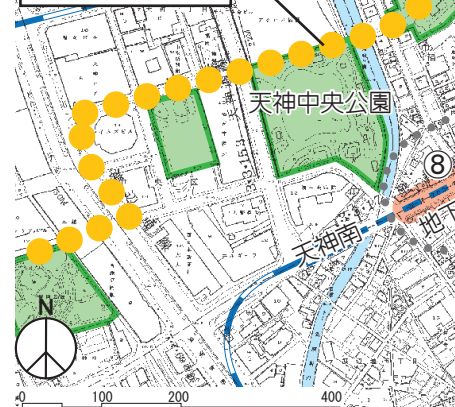
④イーストビル（広場）



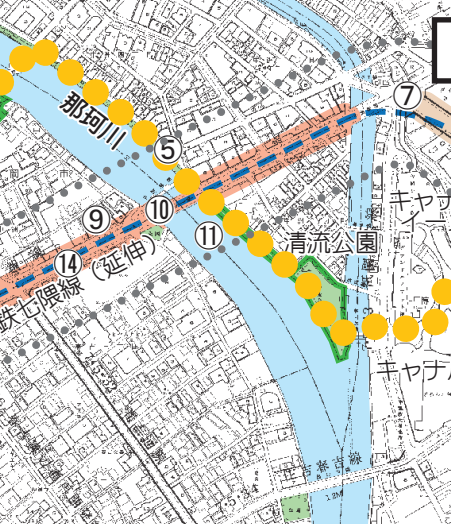
⑤清流公園（案内サインと花）



福博花しるべ



⑥夜のはかた駅前通り



⑥夜のはかた駅前通り（歩道）



⑦祇園町西交差点



⑧国体道路



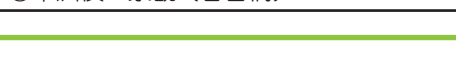
⑧国体道路



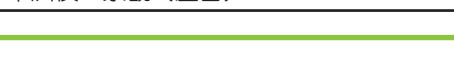
⑨国体道路



⑩中洲夜の景観（春吉橋）



⑪中洲夜の景観（屋台）



⑫はかた駅前通り



(3)「周辺地区」の魅力の整理

【天神】

- 天神地区は、都市的楽しみやサービスが満喫できる様々な機能が集積しています。
- 近年は、韓国や中国などアジアからの買い物客で賑わいを見せています。
- WeLove 天神協議会により、官民共働によるまちづくりが進められています。

外航クルーズ船寄港



天神（渡辺通り）



【中洲】

- 那珂川と博多川に挟まれた文字通りの中洲で東西18の橋で博多と福岡に繋がっています。
- 西日本最大の歓楽街で天神や博多駅地区の発展を側面から支えてきました。
- ※河川空間の整備（博多川夢回廊の整備、那珂川護岸改修）が進められています。

中洲のネオン



【冷泉・祇園】

- 櫛田神社や万行寺などの寺社や、博多町家ふるさと館及び博多伝統工芸館などが立地しています。
- 7月には博多祇園山笠が櫛田神社をスタートし、博多のまちを勇壮に走ります。
- 博多で一番古い商店街で、アーケードの下には老舗や懐かしい感じの店が軒を並べています。
- ※河川空間の整備（博多川夢回廊の整備）が進められています。

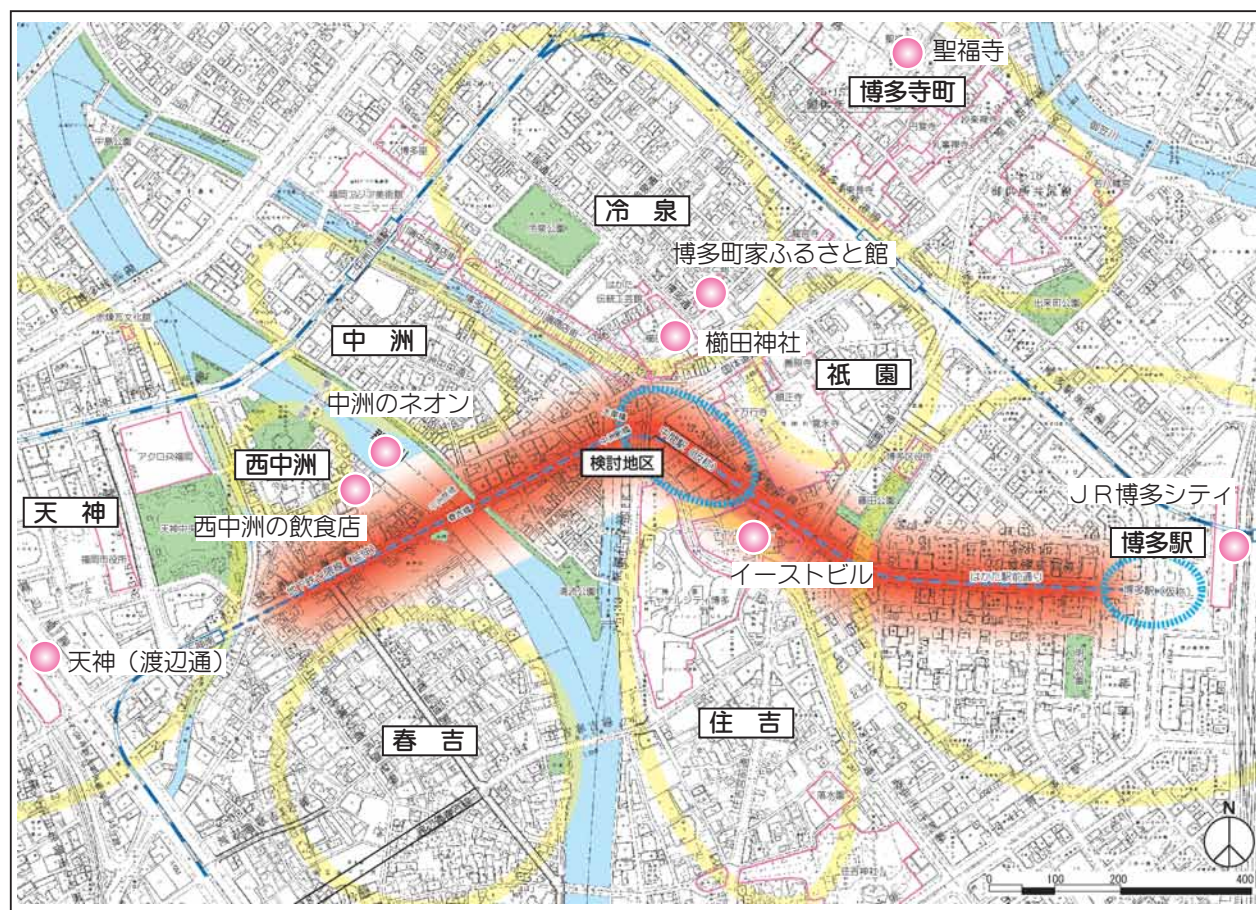
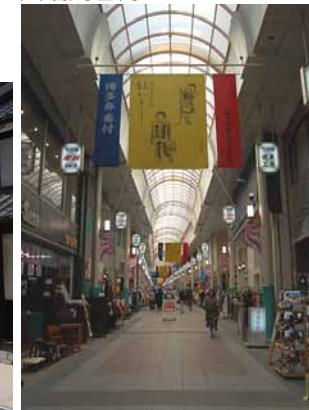
櫛田神社



博多町家ふるさと館



川端商店街



【博多寺町】

- 聖福寺などお寺が多く立地しており、昔の趣がある街並みなどが残っています。
- 近年は、まち歩きや御供所・冷泉ライトアップウォークなどイベントが開催されています。

聖福寺



【博多駅】

- 九州新幹線開通等により、集客力が高まっています。
- 博多まちづくり推進協議会により、駅の力を活かしたまちづくりが官民共働で進められています。

【西中洲、春吉】

- お洒落な飲食店が増加しており、大人の隠れ家として人気エリアになっています。



西中洲の飲食店

【住吉】

- 昨年、キャナルシティ博多の東側にイーストビルが開業したことで、分かりやすさが向上し、回遊性も高まりました。
- ※河川空間の整備（清流公園の改修）が進められています。

キャナルシティ・イーストビル



JR博多シティ



(4) プロジェクト等の現状や整備動向

⑥那珂川護岸整備・清流公園再整備



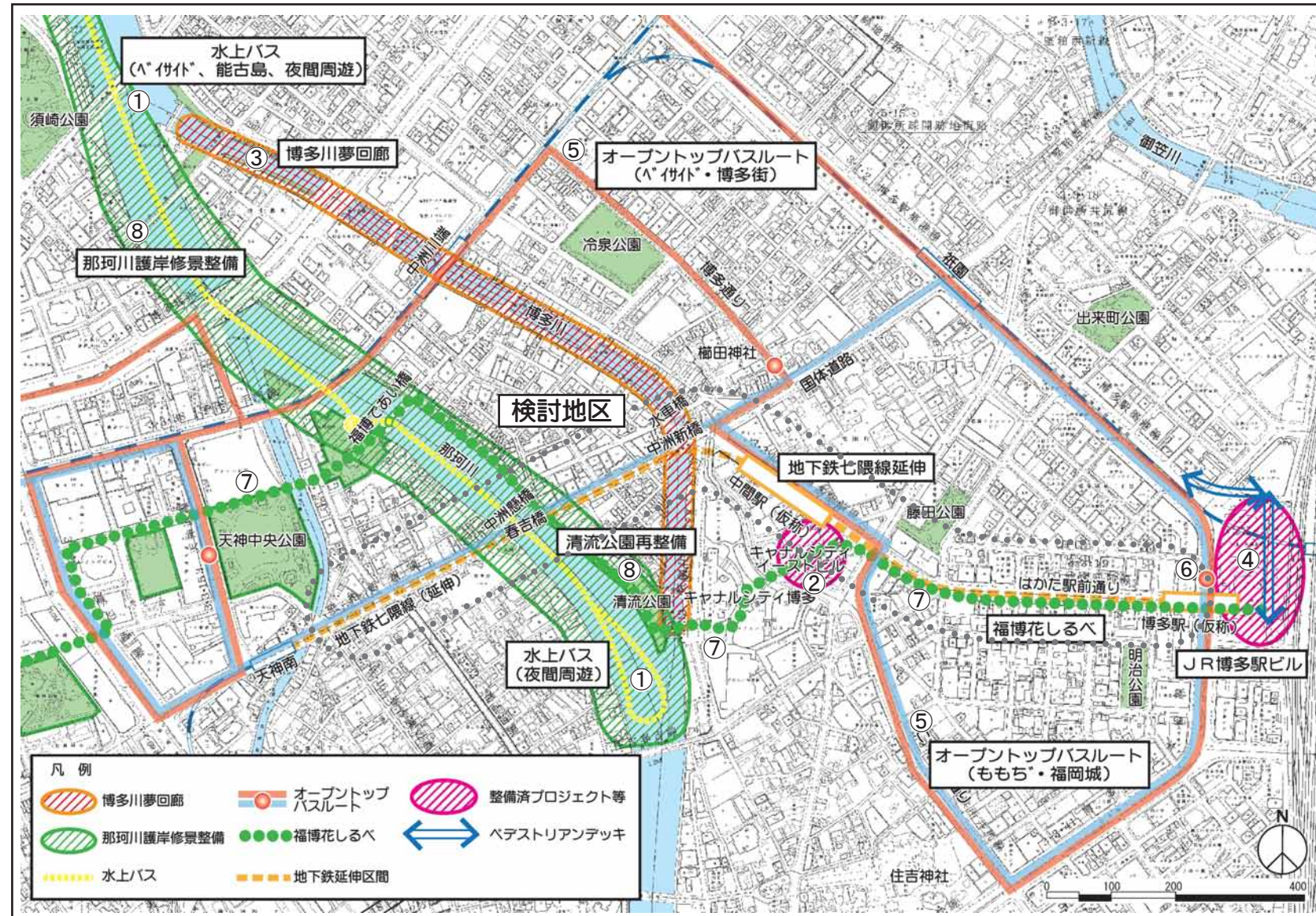
⑦福博花しるべ



①水上バス（＼＼＼、能古島、夜間周遊）



②キャナルシティ博多イーストビル（H23 開業）



⑥天神ライナー



⑥博多駅～キャナルシティ博多シャトルバス



⑤オープントップバス（シーサイドもち・福岡城、ベイサイド・博多街）



③博多川夢回廊



④JR博多駅ビル整備（H23 開業）



(5)「検討地区」の問題点の整理

①歩道に障害物（看板等）が多い



②歩道が狭い、歩行者の安全性に問題



③統一感のない通りの景観



④客待ちタクシーによる渋滞



⑤河川空間の活用（昼・夜の景観）



⑥夜になると放置自転車が増える



⑦橋の老朽化（春吉橋）



⑧橋の老朽化（中洲新橋）



⑨交差点が渡りにくい



⑩その他の回遊ルートでの対応



⑪その他の回遊ルートでの対応



⑫その他の回遊ルートでの対応



⑬歩道が狭い



⑭放置自転車が多い

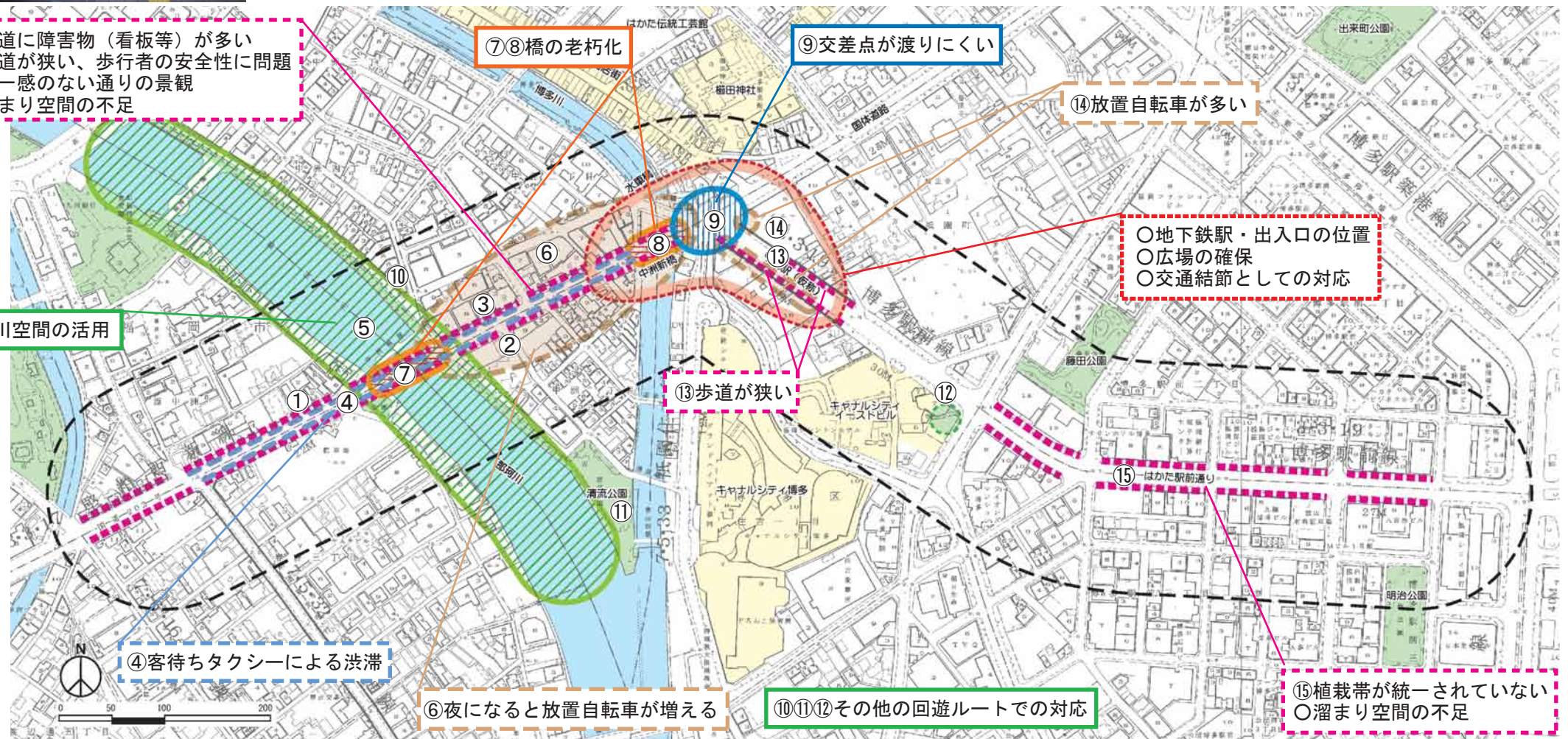


⑮植栽帯が統一されていない



①歩道に障害物（看板等）が多い
②歩道が狭い、歩行者の安全性に問題
③統一感のない通りの景観
○溜まり空間の不足

⑤河川空間の活用



⑦⑧橋の老朽化

⑨交差点が渡りにくい

⑭放置自転車が多い

○地下鉄駅・出入口の位置
○広場の確保
○交通結節としての対応

⑬歩道が狭い

④客待ちタクシーによる渋滞

⑥夜になると放置自転車が増える

⑩⑪⑫その他の回遊ルートでの対応

⑮植栽帯が統一されていない
○溜まり空間の不足

3. まちづくりの目標の検討

地下鉄七隈線延伸事業

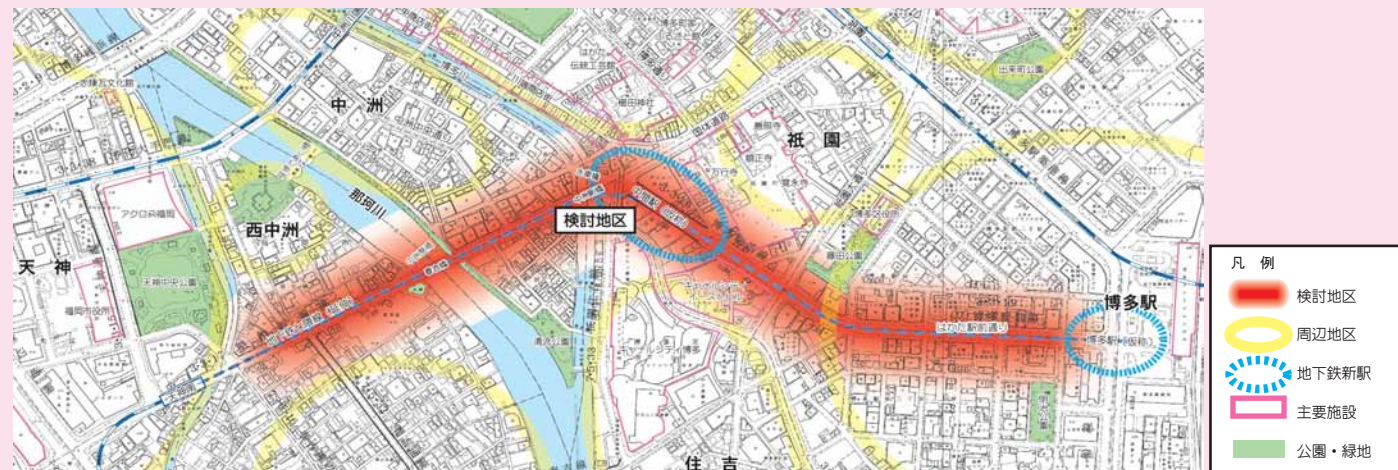
【まちづくりの目標（素案）】

地下鉄七隈線延伸のインパクトを活かした都心部の活力と魅力の向上

地下鉄七隈線延伸のインパクトを活かして、住民や事業者、行政等が一丸となってまちづくりを進めることにより、都心部の活力と魅力の向上を目指します。

①地下鉄中間駅を活かしたまちづくり

天神と博多駅の中央に位置する中間駅周辺では、交通利便性の向上と駅から周辺地区へ分かりやすく歩くことができるよう、地下鉄中間駅を活かしたまちづくりを目指します。



②天神と博多駅をつなぎ、回遊性を高めるまちづくり

天神と博多駅間を多くの人が楽しく・快適にまち歩きができるよう、中間駅周辺と天神、博多駅が連携した回遊性を高めるまちづくりを目指します。

これまでの検討委員会での意見等

○地区の魅力

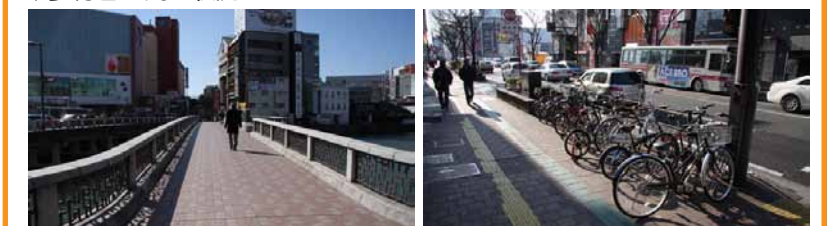
◆市街地形成の歴史



◆主要施設の分布



◆歩行者空間の状況



◆通りの街並み景観等の状況



◆周辺地区



○まちづくり組織

We Love 天神協議会

「国体道路」の通りのイメージ

「賑わいの都心活動軸」

西はけやき通りから舞鶴公園へ、東は中洲、キャナルシティを経て博多まで繋がり、昼夜問わず通行量が多い通りであり、沿道の多様な賑わいを楽しみながら快適に通行できる、ゆとりと潤いのある歩行者空間を形成します。

博多まちづくり推進協議会

「はかた駅前通り」の主軸形成の方針

楽しさあふれる回遊主軸の形成

- ・博多のまちの新たなシンボルとなる景観づくり
- ・ゆとりと賑わいに富み、明るくさわやかな景観づくり
- ・歩行者の自由で便利な回遊を強化
- ・まち並みの連続性と歩行者の安全性を確保
- ・夜も心温まるまち並みの演出 など

中洲地区安全安心まちづくり協議会

《4つのワーキンググループ》

- ①安全・安心ワーキンググループ
- ②賑わいワーキンググループ
- ③クリーンワーキンググループ
- ④道路ワーキンググループ

4. まちづくりのテーマの検討

	これまでの検討委員会の意見等	
	まちづくりに対する意見	まちづくりの取り組みイメージに対する意見等
【全体】	・中間駅周辺と天神、博多駅の連携や連続性 ・高い視点での連携が必要 ・まちづくりの目標は①と②が逆（中間駅を主役にした目標設定） ・まちづくりガイドラインを市民や観光客等に知ってもらうことが必要	・ガイドラインの周知活動



地下鉄七隈線沿線まちづくりガイドライン（素案）
まちづくりの目標（素案）
○地下鉄七隈線延伸のインパクトを活かした都心部の活力と魅力の向上

	これまでの検討委員会の意見等	
	まちづくりに対する意見	まちづくりの取り組みイメージに対する意見等
①地下鉄中間駅を活かしたまちづくり	・「中間駅からまちへ」のまちづくりが必要 ・「駅を活かしたまちづくり」は駅を中心に面的に議論が必要 ・地下鉄整備により回遊性が向上する ・祇園町西交差点が渡りにくい ・中間駅の出入口は商店街に近い場所に必要 ・駅をどの場所にするかは非常に大きな問題 ・中間駅ができると商店街の人通りが減るのでは危機感がある ・中間駅周辺に広場が欲しい（人が集まり、街の活気につながる） 櫛田神社が通りに顔を出すことで訪れる人も増える	・周辺観光施設への案内強化（サイン、4カ国語標記） ・便利な位置での地下鉄出入口の確保（地下通路の確保） ・地下鉄整備に合わせた出入口と地下駐輪場の整備 ・分かりやすい待ち合わせ場所等の整備 ・中間駅周辺での広場空間の確保 ・地下鉄の出入口を周辺に最低4箇所（エスカレータ、エレベーターの設置） （三角市場やキャナル、中洲、グルメシティ） ・河川空間の有効利用による駐輪場等の整備
	・中洲でのタクシー客待ちへの対応 ・限られた空間の中で求められるものが多い（駐輪場、タクシー・バスの駐車場など） ・第二結節点としての対応が必要（西鉄バスやタクシー） ・休憩する場所や乗り換える場所などオープンスペースの確保が重要 ・中間駅からの乗り継ぎはあまりイメージできない ・大型クルーズ船対応の大型観光バスの乗降場や待機場が必要 ・低炭素化社会の実現 ・回遊の手段として地下鉄やバスなど公共交通の考慮も必要	・バス・タクシーベいの整備・改修 ・橋の活用 ・地下鉄スペースの活用（駐車場やタクシープールなど） ・大型観光バス待機場の確保（冷泉小跡地の活用など） ・駐車場やトイレ（無料）等の確保（観光客対応） ※路上タクシー乗り場位置の見直し、タクシープールの確保
	・駅を中心にどういった仕掛けづくりをしていくかが大事 ・博多の歴史の玄関になるので歴史を生かした整備が必要	・櫛田神社や博多町家ふるさと館等と連携した駅の整備 ・周辺観光施設への案内強化（サイン、4カ国語標記）



地下鉄七隈線沿線まちづくりガイドライン（素案）
まちづくりのテーマ（素案）
◇駅からスムーズに歩き出せるまち ・来街者に分かりやすく、駅からまちへとスムーズに歩き出せるまち ・人が集まり、滞留する回遊の起終点となるまち
◇多様な交通機関が利用できる環境にやさしい便利なまち ・地下鉄、バス、タクシー、水上バスなど目的に合わせて利用できるまち ・スムーズ・快適に交通機関が利用できるまち
◇歴史や文化を活かしたまち ・櫛田神社、川端商店街など中洲・川端の歴史や文化を感じることができるまち



※印は、検討委員会での意見の他に We Love 天神協議会や博多まちづくり推進協議会で提案されている当地区に関連したまちづくりの取り組みイメージ

目標	これまでの検討委員会の意見等			地下鉄七隈線沿線まちづくりガイドライン（素案）	
	まちづくりに対する意見	まちづくりの取り組みイメージに対する意見等		まちづくりのテーマ（素案）	
⑧天神と博多駅を結ぶ、回遊性のあるまちづくり	- 歩いて楽しい空間づくりを目指す - 回遊性を高め「福岡はいい街だな」と言われる取り組みが必要 - 観光客をどのような形で歩かせるかが問題 - 目的がないと歩かない - 限られた空間の中で求められるものが多い（回遊軸） - 歩道が非常に狭い - 拡幅するにしても道路側なのか建物側なのかが問題 - 長い距離を歩くのは困難なため、途中で溜まる空間が必要（広場、オープンカフェ等） - 橋の老朽化 - 有名な場所のサインがない、サインが分かりにくい - 既設案内板は、現在地が分からない（外国語表記と目的地までの距離・時間等の情報が必要） - 回遊の手段として地下鉄やバスなど公共交通の考慮も必要	- 歩行者空間の拡幅（沿道建物のセットバックや植栽帯撤去等） - バス停や交差点の位置に溜まり空間を確保 - 橋の活用 - まち歩きマップの作成 - 歩行者天国の実施 - 花壇を撤去してベンチを設置（高齢者の休息場所の確保） ※屋内外での休憩施設の設置（オープンカフェの実施） ※歩行者ネットワークの分かりやすさ向上 ※デザインが統一されたサイン・案内板等の設置	➡	◇楽しく自由に歩け、憩えるまち - ゆったりと楽しくそぞろ歩きができ、公園や橋の上等で憩えるまち - はじめて訪れても、地下鉄やバスなども便利に利用しながら自由に散策できるまち	
	- 昼だけでなく夜の魅力、夜のロケーションを踏まえた上で仕掛けづくり - 通りや河川沿いの景観整備が重要 「福博はなしるべ」が全体にどう馴染ませていくのが重要 - 那珂川沿いの使い方 - ゴミや落書きなどの清掃の視点が重要 - 花壇がゴミ置き場になっている（管理が行き届かない） - 沿道建物がお洒落なお店だと歩いて楽しい - 検討地区に幅をもたせて回遊ネットワークを考える - 拡幅が困難であれば、そこを通らなくていい人を周辺に分散させる（回遊を面的に考える）	- まちなかアートギャラリーを実施 - 花や緑などによる憩いの空間の創出 - 那珂川護岸の修景整備 - 那珂川沿いの建物の夜間ライトアップ - 水上バスの活用 - 建物1階への店舗誘導 - 路地を生かした回遊ネットワークの形成 - 道端や公開空地でのイベントの開催 ※シンボルとなるまち並み景観の形成（景観の規制・誘導） ※道路の緑化推進、建物や公開空地等の緑化推進 ※街路灯やイルミネーション等の設置 ※まちの一斉清掃など地域が一体となって取り組む活動強化 ※既存のモラル・マナーの周知徹底 ※通りのテーマ性の向上 ※建物の建設・改修に合わせた通り抜け通路の確保	➡	◇魅力ある景観が連続し、いつ訪れても新しい発見があるまち - 緑や花、アートに彩られた魅力と清潔感のある景観が連続するまち - 川岸、橋、建物、水上バスから昼も夜も那珂川や博多川、川沿いのまち並みの眺めを楽しめるまち - 個性的なショップや飲食店等が建ち並び、イベントも多く、訪れるたびに新しい発見や感動があるまち - 周辺地区と個性的で魅力を持った幾つものルートで繋がるまち	

※印は、検討委員会での意見の他に We Love 天神協議会や博多まちづくり推進協議会で提案されている当地区に関連したまちづくりの取り組みイメージ

4. まちづくりのテーマの検討

目標	これまでの検討委員会の意見等		地下鉄七隈線沿線まちづくりガイドライン（素案）
	まちづくりに対する意見	まちづくりの取り組みイメージに対する意見等	
②天神と博多駅をつなぎ、回遊性を高めるまちづくり	・夜になると歩行者と違法駐輪が増える ・中洲でのタクシー客待ちへの対応 ・自転車と歩行者の共存、又は歩行者と自転車の分離 ・車道に自転車道を確保するには幅員に余裕がない ・高齢者や障がいを持つ人たちが楽に回遊できるまちづくりを目指す ・治安・防犯の視点での取り組みが必要 ・防災の視点が必要	・歩道上の看板や放置自転車等の撤去 ・駐輪禁止区域の設定（歩道の違法駐輪撤去） ・駐車場の駐輪場への利用転換 ・沿道建物への駐輪場の附置義務条例の適用 ・車道に自転車道を整備 ・レンタサイクルの実施 ・植栽帯スペースでの自転車道の整備 ・オープンスペースを災害時の避難場所として利用 ・タクシーベいの整備・改修 ・橋の活用 ・建物1階への店舗誘導 ・備蓄倉庫として地下空間の活用 ※歩道のバリアフリー化（歩道の段差解消、誘導ブロックの設置） ※路上タクシー乗り場位置の見直し、タクシープールの確保 ※防犯・防災に関する情報発信による防犯・防災対策の強化 ※既存の地区内防犯組織、行政、警察等と連携した防犯活動の展開 ※自主防災組織の育成、防災訓練の実施	まちづくりのテーマ（素案） ◇人にやさしい安全・安心なまち ・来街者が安全で安心に移動できるまち ・歩行者が安全に通行でき、自転車も利用しやすいまち ・明るいショーウィンドウや街路灯、賑やかな店舗が建ち並び、夜間でも安心なまち ・駅周辺を中心としながら災害時に対応できるまち

※印は、検討委員会での意見の他に We Love 天神協議会や博多まちづくり推進協議会で提案されている当地区に関連したまちづくりの取り組みイメージ